

建築データ

構造規模 ■ 木造・2階建て、延床面積/112.00㎡(約33坪)
 主な外部仕上げ ■ 屋根/自然石塗布ガルバリウム鋼板、外壁/窯業系サイディング、建具/玄関ドア:断熱ドア、窓:樹脂サッシ(ペアガラス)
 主な内部仕上げ ■ 床/フローリング、壁・天井/クロス仕上
 断熱仕様 ■ (外断熱)基礎周囲/ビーズ法発泡ポリスチレンフォーム(特号防蟻)50mm、壁/スタイロエース40mm、屋根/ビーズ法発泡ポリスチレンフォーム(特号)110mm
 暖房方式 ■ ヒートポンプ式エアコン 温水パネルヒーター

- 家族それぞれの居場所がある間取り
- 経年変化しづらく耐久性に優れた家
- 細やかな配慮と低コストの両方を実現

10

「山からの家造り」を進める会

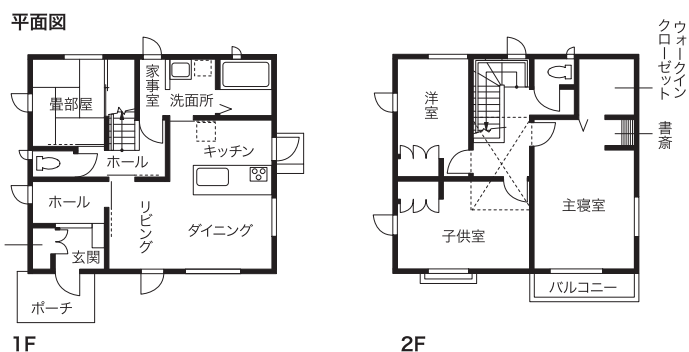
家に求めることはなんですか？ 気密性？ デザイン性？ 長く住めること？ そのすべての根底にあるのは耐久性ではないでしょうか。「『山からの家造り』を進める会」の家で最も自信があるのがその耐久性です。外壁には経年変化しにくい乾式レンガタイルを基本仕様とし、窯業系サイディングを使用する場合にも傷みが始まりやすい外壁の目地止めはむき出しにせず覆うなど、美しい状態を保ち長く住めることを第一に考えた仕様を施しています。

こうした細やかな配慮をしつつ、比較的手の届きやすい価格になっているのも大きな特徴です。「山からの家造り」という名前にもあるとおり、これは、原木が提供される林業産地でほとんどの工程を終えているため。作業と情報を産地に集約することで時間とお金の無駄を省いているのです。低コストでかつ高品質、という理想を現実のものにしました。

提案しているのは、家族それぞれの居場所がある家。LDKが家の中心になっている一方で、子ども部屋や書斎のほか家を切り盛りする主婦の居場所も用意されています。通常アイロンがけなど家事だけのスペースになっている家事室を、ゆったりくつろげる空間に仕上げました。リビングで家族みんなとくつろぐのと同じように、一人でホッとできる時間も大事。「生活する場」であるということは何よりも優先して考えた家になっています。



1. 窯業系サイディングの外壁。ほかにも各パーツには劣化しづらいものを採用
2. 大容量のシューズクロークを備えた玄関
3. 色の変わりにくい和紙畳を敷いた「畳部屋」。床張りしてあるので、畳を上げて洋室として使うことも可能
4. キッチン、リビング、洗面所はホールでくるとつながり、家事がしやすいよう工夫されている
5. LDKはゆとりの約14畳。玄関から各部屋に行くには必ずLDKを通る間取りに
6. 書斎付きの主寝室は10畳以上あり、セミダブルベッドを2台並べても余裕のある広さ
7. 約7畳の子ども部屋。屋根裏にも収納あり
8. 家事の合間にくつろげる家事室。自分だけの空間を持ちづらい主婦専用のスペースに



yamakara no iezukuri wo susumeru kai
 「山からの家造り」を進める会

問い合わせ先事務局
 フォースワンホールディングス(株)
<http://sumori.jp>
 仙台市宮城野区福室字明神西29-3
 TEL.022-258-4112